

第1回鳥栖市都市計画道路見直し検討懇話会 議事要旨

- 1 日時：平成20年9月3日（水） 10:00～12:00
- 2 場所：鳥栖市役所2階 第1会議室
- 3 議題：（1）鳥栖市都市計画道路の見直し方法について

議題1 都市計画及び都市計画道路に関する認識の共有について

（1）都市計画及び都市計画道路に関する認識の共有

都市計画及び都市計画道路について、事務局から説明を行い、都市計画決定の内容と効果について認識が共有された。

（2）鳥栖市の都市計画道路の現状把握

鳥栖市における都市計画道路の整備状況、事業未着手都市計画道路の当初決定からの経過年数、市街地化動向との関係、今後の交通需要の想定、道路整備費用の現状と今後の見通しについて、事務局から説明を行い、鳥栖市の都市計画道路の現状が確認された。

（3）鳥栖市の都市計画道路見直しの必要性の確認

鳥栖市の都市計画道路の現状を踏まえて、未着手都市計画道路の見直しの背景を確認するとともに、見直しの必要性が確認された。

（4）「鳥栖市都市計画道路見直しの基本的な考え方」の確認

「鳥栖市都市計画道路見直しの基本的な考え方」（平成20年2月作成）について、事務局から概要説明を行い、今後の見直し検討方針が確認された。

（5）鳥栖市における都市計画道路見直し方法の概要の紹介

佐賀県が平成19年11月に公表した「佐賀県長期未着手都市計画道路見直しガイドライン」について、事務局から概要説明を行い、見直しの流れ・路線の持つ道路機能の評価指標が紹介された。

(議事要旨)

鳥栖市の現状について

市内の道路は市街地と周辺部でそれぞれ役割があり、周辺部の道路は、広域的な道路としての役割と同時に市民向けの生活道路としての役割がある。

主要地方道久留米基山筑紫野線が無料化されるなどし、国道 34 号以外の路線では比較的渋滞も緩和されたようであるが、市街地内の交差点での渋滞は残っている。

鉄道で分断され、市街地の生活道路にも物流交通が混入しているため、生活しにくい感じがする。住宅地や駅周辺など部分的に歩道が整備されるのであれば、都市計画道路でなくても良い場合もあると思われる。

主要な市民サービス系の施設は駅周辺に立地しているのか。また、高次医療施設は？

駅の東側にベストアメニティースタジアムやサンメッセ鳥栖があるが、総合病院は久留米市に依存している。

バス路線の状況を見ると、田代駅周辺ではバス停が無く、公共交通の空白地域になっている。自動車が使えないと不便な街になっている。

路線バスについては、現在、分かりやすく利用しやすい公共交通の実現を目指し、協議会において検討している。

街の中心がどこかわからない。鳥栖駅周辺が街の中心だと思ってみているが、そういう印象はあまりなく、人が歩く街になっていない。

見直しの必要性について

現在未着手の路線を今後頑張って造るという姿勢にはなかなか転じられないだろう。街中は道路を造る意義が薄い、局所的には必要な区間もあると思われる。

これまで見直しはどの程度行われてきたのか。

新規の追加がほとんどで、これまで抜本的な見直しは行っていない。

当初決定後 40 年以上経過している未着手路線が多く、全体的に分布している。私権制限がかかるので、一度決めたものを簡単にやめる訳にはいかない。

地権者が具体的な不利益を受けた事例はあるか。

「いつになったら道路ができるのか」という声はある。住宅主体の場合は実害が少ないが、本当は建てたいが建てられない方もいる。規制だけかかり、道路ができないと言う不満もある。事業所関係は特に不満が強いのではないか。

商業地域の道路整備が進まないのは問題である。鉄道周辺が手つかずになっていることが大きい。本当に必要な道路であれば、きちんと造らなければならない。

見直し方法について

ただ廃止するという話で終わらないように、生活道路と幹線道路の位置づけを考えながら見直していく必要がある。

見直し検討では、交差点間で区切った区間のような、検討単位を決めて評価すべきである。

都市計画道路の必要性は勿論であるが、ある程度整備の優先度を決めた方が良い。

(以上)